

ホダ場巡回指導 ～しいたけ栽培現地研修会が開催されました～

県内1番の乾しいたけ生産地の洋野町において、7月16日から18日にかけて、洋野町しいたけ産業振興協議会主催の栽培現地研修会が開催されました。

研修会では、振興局、農協、森林組合及び種菌メーカーが指導者となり、洋野町内11地区のホダ場を巡回し、今春に植菌したホダ木を中心に、伏せ込みの状況、ホダ木内の菌糸の伸長状況、害菌の状況等について調査を行い、今後の管理方法について生産者へ指導が行われました。



【ホダ場環境を調査】

全般的にホダ木のしいたけ菌活着状況は良好でしたが、ホダ木によっては、大雪による伐採の遅れで植菌時期がずれ込み、水抜けが悪く生木状態のものや、反対に枯れこみが強く水分が少ないものが

あり、それらにおいては菌糸の伸長が不良な状況でした。

また、害菌の状況については、クロコブタケ、ゴムタケ等が見られましたが問題のない程度でした。

参加した生産者からは、今後の管理の方法についての質問が出され、指導者からアドバイスを受けていました。

さらに、生産者の中には、海の作業と重なっているため、まだ本伏せに移行できていない生産者も見受けられ、このままではしいたけ菌が弱ったり、害菌が付着する危険性が増すことから、早急に本伏せに移行するよう指導が行われました。

振興局では、今後の秋子生産、春子生産に向けた適期の管理について、引き続き指導を続けて行きます。



【ホダ木の菌糸伸長状況を調査】